

# 令和年度 第3回 理事会議事録

日時：令和元年7月23日（火）19:00～20:50

場所：県士会事務所

出席：(理事) 小林(伸)、磯野、三科、小林(司)、有泉、北山、井村、大西、古屋、鈴木、菊池

(委員長) 笠井(斗)

(部長) 入倉、小林(泰)、秋山

書記：笠井(裕)

## 会員管理情報

慶事0件 弔事0件 施設数138

会員数913名(施設853名 自宅60名)

6月の会費納入期限までに会費納入が無く未納退会となった会員が当士会では11名、休会継続申請をせずに退会となった会員が3名との報告が協会からあった。当士会における退会者の経験年数の傾向はバラつきがみられた。全国での未納退会者は2000名程であった。

### I. 審議事項

#### 1. イベント開催時の保険について(小林泰部長)

一般参加の方を対象とした損保保険の見積もりを取った。5社へ依頼し、損保の取り扱いがなかった2社を除き3社の相見積もりを提示する。

##### ○補償内容

入院5000円、入院中手術50000円、通院1日3000円、外来手術25000円、死亡・後遺障害500万円、参加人数100名(保障人数)

- ・三井住友海上：1日3500円
- ・あいおいニッセイ同和損保：1日3600円
- ・損保ジャパン日本興亜：1日5000円(死亡保障が大きい)

どこの保険も名簿を作成しなければならない。提示された金額設定より更に安い設定もある。定員に満たなかったら金額は返却される。ネットで調べた保険会社なので、3社以外の保険会社でも構わない。どの保険を選び、どの程度の補償、金額設定にした方がよいか御審議頂きたい。

- ・士会が単独で行う事業で保険に該当するものはPT週間、ねりんピック、ダイハツのイベントがメインとなる。
- ・相手の補償を大きくしてあげた方がよいのでは。医療保険のベースは入院1日10000円が相場ではないか。
- ・死亡後遺障害の補償は少なくともよいのではないか。

##### <決定>

あいおいニッセイで通院5000円、入院10000円、死亡は500万円、死亡後遺障害はプランとして切り

離せるかどうか、小林先生に再度交渉してもらい見積もりを出してもらおう。参加人数は5回で600人とする。メールで進捗状況を伝えてもらい、次回の理事会で再度検討する。

### II. 報告事項(全25題)

#### 1. 各種委員会報告

- ・表彰委員会：なし。
- ・選挙管理委員会(有泉局長)  
宮下委員長から、院内業務の関係で委員長を続けることが難しくなったため、委員長を辞任したいとの申し出があった。新委員長として誰か推薦してもらえるか相談し、難しければ3役で選任していく。
- ・士会支部組織化検討委員会(三科委員長)  
6月26日、7月22日に委員会を開催した。富士吉田市の健康祭りへ参加することとなり(社会局委託事業部事業)、当委員会として参加する。三科委員長、富士吉田保健所の嶋津先生、健大クリニックから森田先生を含めた3人、社会局より市川先生の計6人が派遣されることとなった。
- ・訪問理学療法委員会(小林副会長)  
9月24日にPT・OT・STバンクの家屋調査に関する研修会を開催予定。訪問リハの実務者研修会は、学術研修会と日程と重なってしまうが、講師と会場の都合により11月16日、17日に予定通り開催する。
- ・災害対策支援委員会(有泉局長)  
JIMUTEFのベーシック研修会の案内がきた。今年までは2名まで推薦可能という旨を大野委員長に打診し、該当者がいれば推薦をお願いしたいとの返答を受けている。
- ・地域支援事業推進委員会(笠井斗委員長)  
地域支援事業に携わるPTの視察報告  
7月9日、10日、兵庫県洲本市へ地域支援事業に携わるPTの視察を行った。  
視察内容：①いきいき百歳体操の通いの場である公民館、②廃校となった中学高を住民の通いの場として活用している高齢者・障害者地域ふれあいセンター、③自立支援型地域ケア会議  
この視察を基に推進リーダーのフォローアップ研修を企画、運営していく予定。
- ・特別支援教育委員会(有泉局長)  
セラピスト向けのナイトセミナーを10月か11月の火曜日に開催することとなった(日程調整中)。教員の方を対象に含めた研修は冬ごろ開催予定
- ・認知症対策委員会(小林副会長)  
認知症カフェの視察に高石先生が行っていただいた。PTの専門性をどう生かしていくべきかを検討している。同委員会の部員募集をサポートーズに掲載していくことを考えている。
- ・がんリハ推進委員会(古屋局長)48分  
学校で教師が生徒に向けたがん教育を行うことに

なったため、リハビリを含むがん医療について教師に向けたレクチャーをしてほしいとの依頼があった。

\*依頼は医師やPOSに行われている。

士会としては、社会局委託事業部で受けてがんリハ委員長の山田先生を派遣することになった。当初は8月中旬に担当者と打ち合わせを行い、その後教師向けの講習会を行うという予定であったが、少し話が変わり「がんリハ」というよりは教師に向けてリハについて何かアピールしてほしいとの内容になった。

- ・やまなし地域リハ-ケアを考える会（磯野副会長）  
8月7日、19時～県立文学館で甲州リハビリテーション病院院長佐藤先生にご講演をいただく予定。申し込みが少ないので広報をお願いしたい。
- ・オリパラスポーツ委員会（代読 有泉局長）  
ラグビーフランス代表チームへのマッサージ対応は別の団体が行うこととなった。  
オリンピック・パラリンピックのボランティアスタッフのweb面接について、8月まで延長した。当士会からは1名のみ受けている。
- ・働きやすい環境づくり検討委員会：なし。
- ・専門職団体協議会（小林副会長）  
がんリハの研修会を11月2日14時～山梨市市民会館で公開講座とPT・OT・STのシンポジウムという形で開催する。400名程の参加者を集めたいので広報をお願いしたい。  
ワーキンググループでは山田先生に参加していただき、どこに行けばがんリハが行えるかどうかなどの資源調査を行ってもらうことが決まっている。

## 2. 学術研修局 委託講習会部（代読 有泉局長）

### ①第1回理学療法士講習会（応用編）の報告

7月13日（土）～14日（日）、健康科学大学クリニックで「臨床動作分析（ヒューマンムーブメント）」をテーマに講習会を開催した。参加者数は35名。講師とアシスタントが連携をよくとれたことで、受講生一人ひとりに対して細やかな対応ができた。

## 3. 社会局 スポーツ理学療法部（古屋局長）

### ①令和元年度山梨県立介護実習普及センター運営委員会参加について

7月8日第1回運営委員会へ参加した。

### ②U14国際テニス大会

6月22日～7月5日須玉クラブヴェルデ1日2名、2大会14日間、他県13名受け入れ、利用25名、54件（内外国人選手6名）だった。

### ③躰道北陸甲信越大会 6月30日、小瀬スポーツ公園武道館で開催。1日6名、東京都士会2名受け入れ、利用5名、9件であった。11月24日に全国大会の依頼がきている。

### ④ラグビーフランス代表チームへのマッサージ対

応は他団体が対応となった（オリパラ委員会報告参照）。

⑤高校野球の依頼がなかった。前回は記念大会で場所が確保できないという理由で参加できなかったが、今回は依頼自体がこなかった。山梨大会終了後にこちらから依頼側に確認を行うべきか。内容は試合後の勝ったチームへの対応となっている。

依頼があった年は、マンパワーの関係で集団体操やパートナーストレッチの指導を行ったが、依頼側は個別での対応を望んでいた様で、関わり方がニーズと合っていなかった気がする。今後も部から人員を多く出せる余裕はない。

→一部としてどういうスタンスで関わり、行いたいのかを優先してもらってよい。

## 4. 学術大会局 合同学術大会部（菊池局長）

### 第3回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会運営会議について

会議で以下の内容が決定した。テーマは「新取」、特別講演の講師は森岡周先生、石川朗先生、市民公開講座の内容はペップトークとなった。

2日開催なので特別講演を2つ設定（各1日）した。

## 5. 広報部（大西局長）

### ①「介護予防推進・健康増進キャンペーン」報告

7月14日（日）、イトーヨーカドー甲府昭和店にて介護予防推進・健康増進推進を実施した。

パンフレット及びグッズは300個配布、ロコモテストには10名参加、介護予防・健康に関する相談には1名の来所があった。今回イトーヨーカドーに使用料を支払いしたことで、前回まではパンフレット等は店前だけの配布と制限があったが、今回は店内どこでも配布してもよいとなり待遇が改善された。一方スタッフの数が多く、来客者の中には威圧感を感じた方もいたとのこと。

### ②理学療法の日に関する東京3誌（毎日、読売、朝日）への広報記事掲載、HP動画掲載について

活動啓発目的に新聞掲載した。3誌ともに7月14日にイベント開催の記事を掲載。今年度はHPに本イベント開催に向けてPR動画を載せた。

この様にHPに動画を載せることもできることが分かったので、他の部局にも活用できればと思う。HP担当の中込先生とも相談をしていく。

### ③キャンペーンについての新聞掲載について

今年は開催場所の手続きに時間を要した。次年度に向けイベントの場所や内容について（公開講座と同時に開催するかなど）検討が必要だと思われる。

## 6. 事務管理局（有泉局長）

### ①後援承諾について

以下の2つについて後援承諾を行った。

1) 第12回山梨県作業療法学術大会

2) RUN 伴(らんと) in 山梨 2019 認知症への理解を深める活動で、認知症の方達と一緒に県庁からイオンモールまでリレー形式で走るイベントを行う。全国的に開催している。

② 自民党との政策意見交換会、長崎幸太郎県政報告会、森屋ひろし個人演説会に参加した。

③ メール配信進捗状況について

現在、初期設定作業中。当士会保有のドメインのサーバーでの経由を行うために必要な作業を実施中。場合によってはメール配信用の新たなサーバーでの経由を行うことになるため必要な作業を実施中。その場合メール配信用の新たなサーバ契約を「お名前.com」と結ぶ必要あり。

④ 講師謝金について(入倉部長)

先日、10万円の謝金を支払う外部講師から「マイナンバーを提示したくない」という申し出があった。その場では謝金と税金を分けて支払いをした。その後、講師所属の会社(法人)に対して謝金を支払えば税金がかからないことを確認したので、謝金の支払いをやり直した。今後は運営する担当者が、予め講師に支払い先は個人か、法人かを確認してもらってから進めていただきたい。

### III. その他

1. ねんりんピックについて(古屋局長)

9月28日にねんりんピックを開催するので、どなたか参加者の協力をお願いしたい。

2. 臨床実習についての啓発について(井村局長)

実習の制度が変わるので11月に実施する養成研修だけではなく、会員全体に向けた研修会を企画するのはどうか?

実習の形態が変わるので、中央から外部講師を呼んで動向について啓発として行うのは良いと思う。(北山局長)

<決定>

高村副会長と相談して開催に向けて進めていく。

### IV. 次回の理事会日程について

日時 令和元年8月27日(火) 18:30~

場所 県士会事務所

連絡 8月23日(金)までに審議事項および資料を事務管理局(有泉理事)へ提出する。

議題がない場合でも事務管理局へ連絡する。

### V. 会長より

- ・選挙お疲れ様でした。
- ・3役会議で会長の代行について検討し、第一副会長は磯野副会長に決定した。